



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1186 / 2014. 03. 28

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2013～2014 年度クラブテーマ
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」
Join Together with Good Challenge!

●本日の例会/ 2014 年 3 月 28 日 第 1295 回

卓 話：「歯を失った場合のインプラント治療」
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学
教授 春日井 昇平 氏

●前回報告/2014 年 3 月 14 日 第 1294 回例会

卓話：「オペレッタの魅力と魔力」
～日本の文化の〈顔〉を持つオペレッタ～
演出家(歌舞伎・オペレッタ) 寺崎 裕則 氏



紹介者：清水会員

会長報告：

- ① 小原ガバナー補佐へ
RLI Part II 修了証を
授与



親睦委員会報告：(石井副委員長)

- ① 3/13 地区親睦ゴルフ予選会へ行ってまいりました。吉岡キャプテンをはじめ、吉田さん、田村さん、小原さん、尾関さん、石井の6名で参加しました。見事予選突破いたしました。決勝大会は 5/12 東急セブンハンドレッドクラブで行います。出場者を募っております。よろしくお願いいたします。



- ②火曜会のご案内です。4月1日(火) 18:30～ANA インターコンチネンタルホテル東京 36F ミックスバー＆ラウンジ。ゲストは先日卓話の 東京医科大学 名誉教授 戸田中央総合病院病理部長 工藤玄恵先生です。皆様のご参加よろしくお願いいたします。

幹事報告

3月27日(木)18:30～東京グローバルロータリークラブのチャーターナイトがあります。会場の国際文化会館は大変桜が綺麗だそうですし、当クラブはスポンサークラブとなっておりますので、お時間の都合のつく方は是非ご出席ください。詳細は以下の通りです。3月27日(木) 18:30～国際文化会館 会費 15,000 円。



3月14日(金) / 9件 18,000円 累計 897,000円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/寺崎先生、本日は楽しみにしています。よろしくお願いいたします。田村昭二/土曜日の新人研修、昨日の千代田、銀座・日本橋グループのゴルフ予選会、関係者の皆様方お疲れ様でした。石井さんニコニコご苦労様です。小原健/昨日のゴルフ予選会、当会チームは予選突破です。やはり意外でした。村山公士/先日8日(土)の千代田グループの新会員研修会には、新会員はもとより西澤会長を始めとして多くの会員にご参加いただき、まことにありがとうございました。お陰様で、当日はグループ8クラブから53名が参加、新会員によるクラブ紹介、小原ガバナー補佐の絶妙のコーディネートによるパネルディスカッション「ロータリーの基本を学ぶ」、そして和気藹々の懇親会と充実した一日となりました。皆様のご協力に感謝致します。土屋東一/石井さんニコニコご苦労様です。清水實/寺崎先生、今日は卓話よろしくお願いいたします。小林博茂/地区ゴルフ会決勝進出だそうですね。選手の皆さん、優勝目指して今日から節度ある生活をしてください。尾関武男/昨日、千代田グループ合同ゴルフ予選大会参加いたしました。23組中6組の決勝進出に残りました。石井達/寺崎先生のオペレッタのお話楽しみです。

出席報告： 会員 38 名 / 出席 24 名 欠席 14 名
ゲ ス ト： 寺崎 裕則 (卓話) (計 1 名 敬称略)

●次回予告/ 2014 年 4 月 4 日 第 1296 例会

卓話予定： ランドマーク税理士法人
東京丸の内事務所
責任者 薄葉 李之 氏

ロータリーは、単年度が原則です。毎年 7 月には、国際ロータリーも、地区も、そしてクラブも、すべての役員が交替します。ガバナーエレクトが、国際協議会の研修を終え帰国すると、今度はクラブの次年度役員の研修が始まります。これらの研修会は、「PETS」「地区協議会」と一般に呼ばれていますが、そこでは一体、どんなことが行われているのでしょうか。地区やガバナーエレクトによって特色がありますが、ここでは基本的な部分を紹介します。

PETS (Presidents-Elect Training Seminar)

Presidents-Elect Training Seminar (会長エレクト研修セミナー) の省略形が「PETS」。「ペッツ」と呼ばれていますが、文字通り、地区内各クラブの会長エレクト (次年度 7 月 1 日からクラブ会長になる人) のための、研修・教育を行う情報提供プログラムです。

クラブ会長の能力、知識、やる気を育成することが目的となっています。その「目的」を、具体的に『会長エレクト研修セミナー (PETS) 指導者用ガイド』P1「計画と準備」から引用しますと、

- ・次期クラブ会長が次年度の会長となるための準備を整える。
- ・地区ガバナー・エレクトおよび次期ガバナー補佐に、次期クラブ会長の意欲を高め、協力関係を築く機会を与える。

ということになります。

PETS の開催時期は、毎年 3 月中になるべく 2 月または 3 月中に開催するとされています。セミナーの主催者は、国際協議会で先に研修を済ませてきたガバナーエレクト (次年度ガバナー) です。

ガバナーエレクトは、現ガバナーやガバナー補佐とも協力し、地区研修リーダーに指示して PETS を監督します。地区研修リーダーは実際にセミナーを計画し、その実施に責任をもちます。セミナーの指導チームは「資格の備わったパストガバナー」と、地区委員会委員長で構成されますので、経験豊かな地区の人たちに、一度に身近に接することができる良い機会ともなります。

研修では、来る年度の R I (国際ロータリー) テーマや、効果的な奉仕プロジェクト、ロータリー財団についての説明や紹介、情報伝達が行われます。ガバナーエレクトが、国際協議会で R I 会長から直接聞いた、新年度の R I テーマに対する思いやその印象、次年度の R I 会長の方針など、研修後間もない、ガバナーエレクトの新鮮な話や方針を直接聞ける、絶好の機会です。

また、クラブ会長の役割と責任の検討、目標の設定、クラブ役員の選定と準備、クラブの運営、新会員の勧誘と説明指導、R I と地区の有用資源なども取り上げられます。

セミナーの具体的な構成メニューを、『手続要覧 2010 年』P53 から引用すれば、

- ・ R I テーマ ・ 役割と責務 ・ 目標の設定
- ・ クラブ指導者の選任と準備 ・ クラブの管理運営
- ・ 会員増強 ・ 奉仕プロジェクト ・ ロータリー財団
- ・ 広報 ・ リソース
- ・ 年次計画と戦略計画 (ロータリー章典 23.020.3.)

となります。

こうして、クラブ会長エレクトは、次年度の R I テーマを踏まえ、ロータリープログラムを実施する準備が整うのです。また、この PETS により、クラブ会長エレクトは、新たなロータリー年度におけるクラブと、地区の活動を企画し、指導者を喚起し、地区運営についての

情報を、クラブに帰って仲間に提供できるのです。

なお、世界では、2 つ以上の近隣地区が「多地区合同 PETS」を実施する場合もあります。多地区合同 PETS 主催グループは、必然的に多数の協力者が得られるので、バラエティーに富んだ講演者を迎えることができすし、次期クラブ会長に地区を超えた視点を提供し、効果的なクラブ指導のための、多岐にわたる方策を発案できる、という利点もあります。

地区協議会 (District Assembly)

毎年 1 回、地区内すべてのクラブの次期会長、幹事、理事、主要委員会の委員長など、重要な次期クラブ指導者たちが集まる知識・情報交換の場です。通常は、各クラブから 10 人前後の代表者が、この訓練コースに招請されます。

地区協議会は、なるべく 3 月、4 月、5 月中に行うこととなっています。協議会プログラム全般の責任は、ガバナーエレクトが負うとされていますが、計画と実施については、地区研修リーダーが責任を負うとされています。一方、各地区委員会委員長は、担当する研修セッションでの立ち上がりを指導する責任を、もっています。

協議会の主目的は、3 点にまとめられます。①会員基盤を維持・増強、②地元や外国の地域社会で、その地域の実情に即したプロジェクトを実行し成功できるように、③プログラムへの参加と寄付金を通じ、ロータリー財団を支援すること、この 3 点について、ロータリークラブの指導者たちに、必要とされる能力を育成し、知識をもち、やる気を起こすように図ることです。

会の形式は、教育方法と分科会をフル活用し、次期クラブ役員が、ロータリーの奉仕のプログラムを推進する任務を把握できるようになっています。クラブ役員は、効果的なクラブ運営について学び、次年度の奉仕目標の達成について意見交換します。クラブ会長エレクトのために行われる研修セッションには、パストガバナー、ガバナー補佐などを適宜招くべきとされています。

大切なことは、PETS も地区協議会も、次年度クラブ会長になる人の参加が、義務づけられていることです。もし、出席しなければ、その人はクラブ会長に就任することができません。このシステムは、ちょうど、ガバナーエレクトが国際協議会に出席しないと、次年度ガバナーにはなれない、というのと同じであることに、セミナーの重要性が表れています。

ロータリーでは、会長以下各担当者が、R I、地区、クラブにおいて、基本的に毎年替わります。人は毎年替わっても、ロータリーの基本的な考え方は変わるものではありません。また、活動の中には単年度ではなく、何年もかけて完成するものもあります。しかし、いずれの活動も人から人への手渡しで、バトンタッチされていくものです。

新しい年度にクラブを指導する人々が、ロータリーの基本、ならびに新年度の R I 会長やガバナーの方針をよく理解し、それを各クラブにもち帰って、クラブの仲間たちに伝え、共有する。さらに、各クラブの事情も考えながら活動に結びつけていく。出席者は大切なその橋渡し役です。

PETS や地区協議会は、単なる研修会ではありません。ロータリーの奉仕のプロジェクトについて、新しい考えを入れながら、永遠に続く継続性をもたせるために行われる、大切な会合なのです。

『ロータリーの友』 2005 年 3 月号掲載